

## 母県との懸け橋担って60年

# 賑やかに還暦祝う

## 中村知事 「両国の懸け橋」

愛媛県人会（西村定栄会長）の創立60周年を祝う式典が10日、聖市ピラ・マリアーナ区の北海道協会会館で行われた。母県からの慶祝団35人を筆頭に、約400人が会場に駆けつけ、節目の年を祝った。松山市長時代を含め、3度目の来伯となった中村時広知事は「父はブラジル移民として4年間在住するなど、自分にとりて近い国。県人会が両国をつなぐ懸け橋となり、県人の拠りどころとなっていることを改めて確認出来た」と賑わう会場で笑顔を見せた。



サンパショーでは知事からもダンスに加わり会場を盛り上げた

県出身者の親族交流と郷土関係者との連絡、戦後移住の受け入れ促進等を目的として、同県人会は1953年6月に発足した。初代会長は中矢一郎氏で県人親睦の核として運営されてきた。40

「ブラジル社会の発展に大きく貢献した同郷の方々を誇りに思う。議会としても、今後友好親善に努めていくと力強く話した。父が松山市出身の羽藤ジョージ聖州議、福島輝在聖日本国総領事、安部順二連邦下議ら来賓から祝辞が送られた後に、80歳以上を対象に

式典で挨拶に立った西村会長は、「今日が迎えられるのも、母県の支援と理解の賜物。県費留学、技術研修制度などにより若者が持ち帰った教えや技術は、これからの世代交代に必ず役立たせる」と

22人への高齢者表彰、功労者表彰が行われた。記念品の交換では、中村知事から西村会長に四国中央市の伝統工芸である水引で作られた、金色の船が贈られた。

とした舞台での野球拳など、会場が一体となつて祝いの日を楽しんだ。交流センター設立に尽力し、副会長も務めた山本昌志さん（84、愛媛）は、「還暦を迎え、一世の時代場所。元気に続けていきたい」と期待を込めた。

1971年より現在に至るまで、県費留學生、技術研修制度により、多くの若者がお世話になりました。学んだ教えや技術の全ては、これより先の世代交代に役立たせていただきます。感謝の一言で最後に皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、ご挨拶いたします。

## 母県に心より感謝

愛媛県人会長 西村定栄



式典におきまして、誠に多くの方々にご臨席いただきまして誠にありがとうございます。感謝申し上げます。今を去ること60年前、故郷・愛媛を愛する先人たちが県人会を発足させ、その折々の歴代会長、役員たちが会員の協力を得ながら運営、努力を続けてきました。

### PAPEL DE PONTE PARA AMIZADE ENTRE OS PAÍSES

A cerimônia de comemoração de 60 anos de fundação da Associação Cultural Ehime Kenjin do Brasil, no dia 10 de novembro, na sede da Associação Hokkaido de Cultura e Assistência.

Vieram para a festividade 35 pessoas do Japão, liderados pelo Governador Sr. Tokihiro Nakamura, e Presidente da Assembleia Legislativa Sr. Shoichi Takeda. Participaram 400 pessoas, e dentre as autoridades da comunidade japonesa convidadas, esteve presente o Deputado Federal Junji Abe, que fez um discurso e uma entrega de homenagem.